吸入指導依頼書

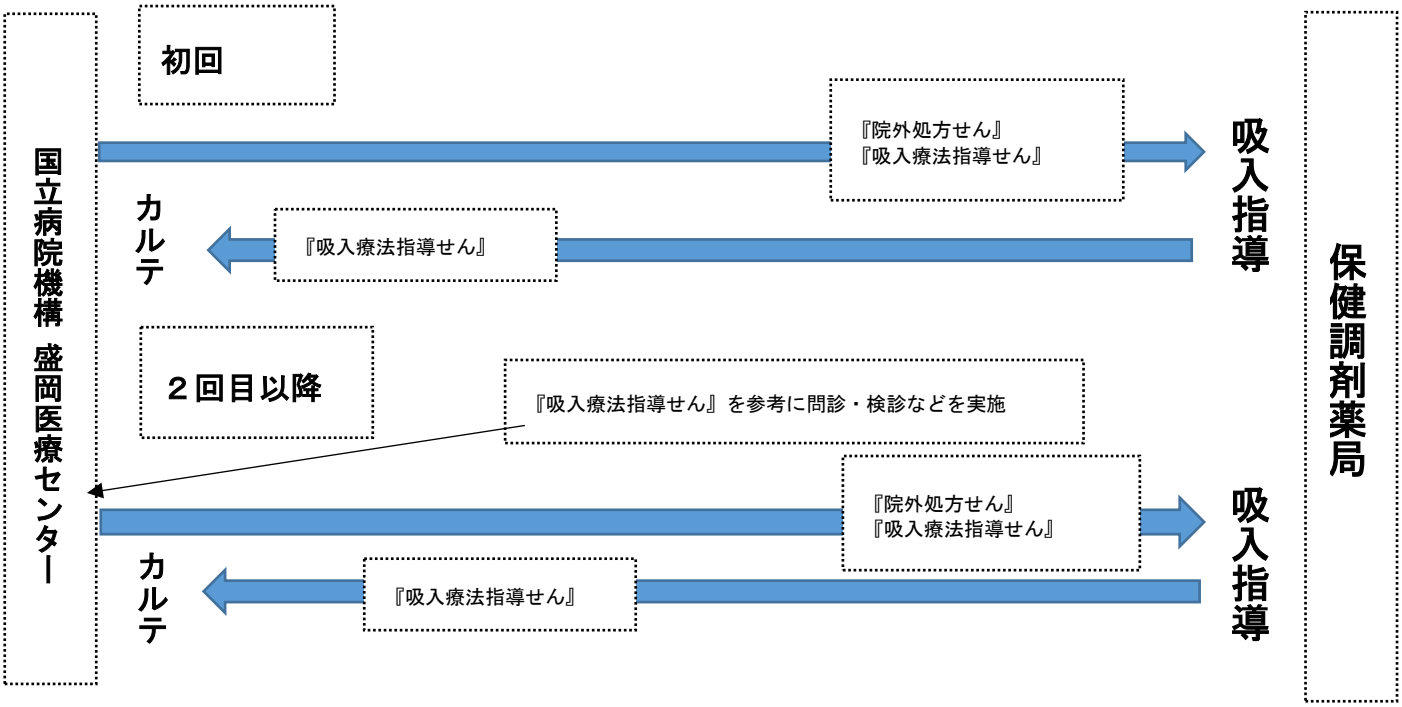
令和　　年　　月　　日

調剤薬局薬剤師 殿

医師名：

この吸入指導依頼書は、病院と保険調剤薬局の間で治療に必要な情報を共有し、吸入療法に役立てるためのものです。この依頼書を受けられた場合は、以下の吸入療法連携フローに従い吸入指導をお願いします。

なお、ご不明な点は担当窓口まで問い合わせください。



保険調剤薬局と吸入指導連携を行うために、当院で構築した体制は以下の通りです。

① 医師は吸入指導が必要であると判断した患者に対して、『吸入療法指導せん』を発行する。
② 患者は『院外処方せん』と『吸入療法処方せん』を調剤薬局に提出する。
③ 保険調剤薬局は吸入指導を実施し、その結果を『吸入療法指導せん』の薬剤師コメント欄に記載し、 当院の地域医療連携室に FAX で送信する。
④ 『吸入療法指導せん』は地域医療連携室→外来クラークを経由してカルテへ。
⑤ 次回診察時に医師がその結果を参考にしながら問診・検査などを実施する。

２回目以降は、必要に応じて①～⑤のやり取りを繰り返す。

- お願い

  病状のコントロールが良好な場合でも定期的に吸入を継続するよう指導をお願いします。

- FAX 送信先・連絡先

  国立病院機構 盛岡医療センター 地域医療連携室 FAX 019-647-9339 （電話 019-908-7001）

- 吸入指導連携について、ご不明な点がありましたら、以下の連絡先までお問合せください。

  国立病院機構 盛岡医療センター 薬剤科 （代表）（電話 019-647-2195 内線 303）

吸入療法指導せん

※ □内への記載をお願いいたします。

主治医		
指導依頼日	年　月　日	
吸入療法歴	初めて　ヵ月　年目	
吸入療法指導	□ 初回	□ 回目

商品名			剤型・デバイス		含有成分	指導
単剤	□	サルタノール	インヘラー	pMDI	SABA	D・G
	□	メプチン（□ ｴｱｰ□ ｷｯﾄﾞｴｱ□ ｽｲﾝｸﾞﾍﾗｰ）	—	pMDI・DPI	SABA	D・G・E
	□	エンクラッセ	エリプタ	DPI	LAMA	A
	□	オンブレス	ブリーズヘラー	DPI	LABA	B
	□	シーブリ	ブリーズヘラー	DPI	LABA	B
	□	スピリーバ（□ ﾊﾝﾃﾞｨﾍﾗｰ(ｶﾌﾟｾﾙ□ ﾚｽﾋﾟﾏｯﾄ）	—	DPI・SMI	LAMA	B・F
	□	フルタイド（□ 100□ 200）	ディスカス	DPI	ICS	A
	□	パルミコート	タービュヘイラー	DPI	ICS	C
	□	オルベスコ（□ 100□ 200）	インヘラー	pMDI	ICS	D・G
2成分	□	アドエア（□ 100□ 250□ 500）	ディスカス	DPI	ICS/LABA	A
	□	レルベア（□ 100□ 200）	エリプタ	DPI	ICS/LABA	A
	□	アテキュラ（□ 低□ 中□ 高用量）	ブリーズヘラー	DPI	ICS/LABA	B
	□	プテホル・シムビコー（□ SMART療法）	タービュヘイラー	DPI	ICS/LABA	C
	□	フルティフォーム	エアゾール	pMDI	ICS/LABA	D・G
	□	アノーロ	エリプタ	DPI	LABA/LAMA	A
	□	ウルティブロ	ブリーズヘラー	DPI	LABA/LAMA	B
	□	スピオルト	レスピマット	SMI	LABA/LAMA	F
3成分	□	テリルジー（□ 100□ 200）	エリプタ	DPI	ICS/LABA/LAMA	A
	□	エナジア（□ 中用量□ 高用量）	ブリーズヘラー	DPI	ICS/LABA/LAMA	B
	□	ビレーズトリ	エアロスフィア	pMDI	ICS/LABA/LAMA	D・G
	□	その他（　　）	—	—	—	—

吸入量・回数	［朝　吸入］・［昼　吸入］・［夕　吸入］・［寝る前　吸入］
吸入補助器の使用	□ エアロチャンバープラス　□ その他（　　）
主治医より連絡事項 上記について吸入指導を依頼する。	

A. ディスカス・エリプタ	評価
1.カバーをあける	
2.薬剤のセット(レバーを押す)	
3.吸入動作	
4.息ごらえ	
5.カバーを閉じる	
6.残薬の確認	
7.吸入後のうがい	
8.ディスカストレーナーによる吸入方法の理解	

B. ハンディヘラー ブリーズヘラー	評価
1.キャップを開ける	
2.カプセルを取り出す (薬剤のセット)	
3.緑のボタンを押す	
4.吸入動作	
5.息ごらえ	
6.吸入後のうがい	
7.吸入器の保守・点検	

C. タービュヘイラー	評価
1.キャップの取り外し	
2.薬剤のセット	
3.吸入動作	
4.息ごらえ	
5.残薬の確認	
6.キャップの装着	
7.吸入後のうがい	
8.タービュヘイラートレーナーによる吸入方法の理解	

D. エアゾール（ｽﾍﾟｰｻｰ無）	評価
1.キャップをはずす	
2.吸入薬をよく振る	
3.ボタンを押し下げる	
4.吸入動作	
5.息ごらえ	
6.残薬の確認	

E. スイングヘラー	評価
1.キャップをはずす	
2.ボタンを押し下げる	
3.息を吐く	
4.吸入動作	
5.息ごらえ	
6.キャップを閉める	

F. レスピマット	評価
1.準備 (カートリッジの挿入と空噴霧)	
2.ケースを180度回転させる	
3.キャップを開ける	
4.吸入ポーズ	
5.吸入動作	
6.息ごらえ	
7.残薬の確認	

G. エアゾール（ｽﾍﾟｰｻｰ有）	評価
1.キャップをはずす	
2.吸入薬をよく振る	
3.スペーサーに吸入薬の装着	
4.薬剤を噴霧し、吸入動作	
5.息ごらえ	
6.(必要に応じ、吸入動作の繰り返し)	
7.吸入後のうがい	
8.スペーサーの補助器の保守・点検	

インチェック（　　）L/min　目標値６０（30～100）

薬剤師による指導内容　□ 院内　□ 調剤薬局

薬剤師名	

※評 価：良好・やや良好・どちらともいえない・やや不良・不良
5-------4----------3----------2-------1

独立行政法人国立病院機構 盛岡医療ｾﾝﾀｰ 薬剤科　2024.01